



文責 本宮小校長 佐久間仁

災害に備えて



今回の台風十号の接近に伴う対応にあたっては、保護者の皆様には迅速かつ冷静な対応をしていただき、ありがとうございます。お陰様で、学校も校舎等への被害もなく、教育活動を変更なく実施することができました。

すでに台風十一号の発生が報じられていますが、今後も、強風や大雨等により、教育活動の変更(開始時刻の繰り下げや休校など)が生じた場合には、マチコミメールで連絡しますので、ご理解、ご協力をお願いします。

なお、マチコミメールでもお伝えしましたが、**台風接近時は、不要な外出を控え、河川や排水溝、がけ等の危険箇所には近付かないよう、ご家庭でもご指導ください。**よろしくお願いします。

防

災教育について



学校だより四月③号でもお伝えしましたように、今年度は「主体的に判断・行動する力を高める防災教育の充実」に努めています。特に二学期は以下のような取組を通じて、体験活動の充実を図ってまいります。

○コミュニティ福島見学(二年) 九月十三日(金)

○防災出前講座(四年) 九月三十日(月)

○防災ワークショップ(六年) 十一月十八日(月)

子どもたちには、これらの活動を通して、次のような力を身に付けさせたいと考えています。

○災害時における危険を認識し、日常的な備えを行うとともに、状況に応じて的確な判断をして自分の安全を守る行動ができる。

○地域の自然環境、災害や防災についての基礎的・基本的事項を理解し、活用できる。

○災害発生時に、進んで集団や地域の安全に役立つことができる。

※ご家庭でも日頃から、万が一の際の対応(家族同士の連絡方法や避難場所・避難経路など)を話し合っておいてください。

水

害について



四年生が社会科の授業で、令和元年の東日本台風による水害について学習しました。市の広報誌に掲載されていた当時の写真をもとに、どのような被害があったのかを話し合いました。

「あぶくま川がはらんして、安達太良川も決かいました。」

「お店は看板だけが見えています、一階は水に浸かっています。」

「車も水に浸かっています。」

「逃げおくれたりして、亡くなった人が七人もいたそうです。」

子どもたちは、五年前の出来事なので、ほとんど記憶にはない様子でしたが、身近で起きる災害について理解する機会となりました。

今後、自分たちにもできることはないか考えることで、行動する力を養っていききたいと思います。



食

育の学習



ヤクルトの方を講師にお招きして四年生が「おなか元気教室」を行いました。実物大の小腸や大腸の模型を使って、腸の長さや働きを教えていただきました。おなかを元気に保つためには、規則正しい生活(早寝・早起き・朝ご飯など)が何よりも大切です。特に、水分や野菜(食物繊維)をしつかり摂ることや、毎朝決まった時刻にトイレに行くことも大切だと学びました。おなかを元気にするために、一人一人がめあてを立てました。実行できているか、ご家庭でもお声がけや励ましをお願いします。



熱中症に注意

天候が回復したため、今週は気温が三十度前後と高くなるのが予想されています。学校では、運動する際は、適度な休憩や水分補給を心がけています。暑さに応じてタオルや水分の準備をお願いします。